

関西協会ニュース

2004 年 11 月 15 日発行 第 39 号

『関西地区 骨髄バンク・さい帯血バンク 合同フォーラム』開催

10月29日(金)大阪赤十字会館大会議室において、大阪府・NPO法人関西骨髄バンク推進協会主催「関西地区 骨髄バンク・さい帯血バンク合同フォーラム」が開催されました。(共催:京阪さい帯血バンク 後援:厚生労働省・大阪市・堺市・高槻市・東大阪市・日本赤十字社大阪府支部・(財)骨髄移植推進財団)

最初に、大阪府健康福祉部地域保健福祉室疾病対策課 松下彰宏課長による開会の言葉の後、厚生労働省健康局疾病対策課臓器移植対策室 片岡佳和室長からお預りした挨拶文を読み上げました。

続いて、京阪さい帯血バンク・関西骨髄バンク推進協会理事長 正岡徹による基調講演「骨髄バンク・さい帯血バンクの現状と展望(2ページ参照)」とパネルディスカッション「骨髄バンク・さい帯血バンク事業の課題」が行なわれました。パネリストには5人の方をお迎えし、関西協会専務理事 藤岡八重子を交え、それぞれの貴重な体験を語っていただきました。

最後は、大阪府赤十字血液センター 柴田弘俊所長より閉会の言葉をいただき、フォーラムを締め括りました。

80名近く集まった参加者からは、現場の声を聞いてよかったなどといった感想が寄せられました。

また、このフォーラムの開始前には、関西協会主催の意見交換会も開かれ、これからのバンク事業に対する活発な意見の交換が行なわれました。



<パネルディスカッション・テーマ> (敬称略・発言順)

- | | |
|-----------------------------|---|
| さい帯血移植経験者・加藤徳男 | 「さい帯血移植を受けるまでの経緯とそれまでの思い」 |
| ムコ多糖症のお子さんを持つ家族・中井麻里 | 「耀君にさい帯血移植を選ばなかった理由と骨髄バンクに伝えたいこと」 |
| 守口ライオンズクラブ幹事・福永敏隆 | 「守口市で骨髄ドナー登録会が開催できるようになるまで」 |
| 兵庫県赤十字血液センター渉外課長・藤田嘉秀 | 「関西電力労働組合の献血併行型登録会開催の実現について血液センターの果たした役割」 |
| 京阪さい帯血バンク事務局・松本加代子 | 「京阪さい帯血バンクに必要な支援」 |
| NPO法人 関西骨髄バンク推進協会専務理事・藤岡八重子 | 「バンク設立の頃の私の思い」 |



基調講演『骨髄バンク、さい帯血バンクの現状と展望』(抜粋)

正岡 徹

骨髄は骨の中の赤いところですが、ここには赤血球、白血球などの血球を作る親細胞(幹細胞)が居ます。同じ細胞は臍の緒のなかにも沢山あるのでお産の時に臍の緒の中の血液(臍帯血)をとって凍らせて保存しておき、病気の治療に使おうというのがさい帯血バンクです。日本では骨髄バンクは 19 万人の方が提供者の登録をし、これまでに 5000 人の方が移植を受けています。さい帯血バンクは 2 万個の臍帯血が凍結保存され 2000 例が移植を受けておられます。

勿論、これら移植はただ提供者と医師と患者がいてできるものではなく、多くの方の協力があって初めて可能となるのです。骨髄提供を広く多くの方に呼びかける広報活動、提供者登録会の準備、諸団体への協力をお願い、また登録を希望される方への説明は、骨髄バンクの講習を受け資格を得た多くのボランティアの仕事です。このように骨髄バンク、さい帯血バンクにはボランティアの活動が不可欠です。

治療に苦しむ患者さんを励まし、家族の方の手助けをすることも治療を成功させるのには必要です。このごろはインフォームドコンセントとって、本当の病名を患者に告げ、治療の成功と失敗の可能性まではっきりと説明するようになってきました。自分が死ぬなど考えたこともない若い患者では患者の精神的な励ましも重要となって来ました。

最近では骨髄移植を受けて治った患者さんたちの生活支援も重要となってきています。白血病などは若い人達に多い病気ですから、就職前に発病した場合などには病気が治っても就職することは非常に難しいのです。元患者さんたちの作った作品販売なども、チャリティーゴルフ大会や、チャリティー囲碁大会などもやってきました。このような方たちがコンピューターのソフト会社を作っていますが、この人たちにもホームページ作成などの仕事を見つけてあげるのもわれわれの仕事です。

勿論、骨髄バンクもさい帯血バンクも厚生労働省の補助金をもらって運営されていますが、骨髄や臍帯血の直接費用の補助が対象で、これだけではとても活動ができません。いろいろな方からの善意の寄付をお願いしなければ活動ができません。我々関西協会はこれまでに(財)骨髄移植推進財団に 1700 万円を超える寄付を行い、感謝状をいただきました。NPO 法人関西骨髄バンク推進協会はこのような「緑の下の力持ち」の仕事に黙々とまじめに続けています。

『三菱ウェルファーマ大阪研究所での骨髄バンク登録会』 三菱ウェルファーマ株式会社 大滝 裕

三菱ウェルファーマ大阪研究所(大阪府枚方市)では、去る 7 月 7 日に献血・骨髄バンクドナー登録会を開催しました。

当社は、製薬会社として、「いのちの大切さを尊重し、健やかでいきいきと輝く生活に貢献すること」を基本理念に掲げており、当研究所の ISO 14001 環境方針にも社会貢献を謳っております。その活動の一環として、献血・骨髄バンクドナー登録会の開催を企画しました。しかし、当研究所では、2000 年に一度ドナー登録会を実施しており、当時に比べ従業員数も減少していることから、登録会を実施できるだけの登録希望者が集まるか不安でした。事前に登録希望者数を調査したところ、登録希望者は 3 名でしたが、無事登録会が開催できました。当日は、この 3 名に加え新たに 2 名が登録を希望し、合計 5 名の登録が完了しました。微力ながら骨髄バンクの活動に協力できたのではないかと自負しております。また、登録希望者の募集や当日の説明会によって、骨髄バンクの活動に対する従業員の理解を深めることもできたのではないかと思います。

大阪生野ライオンズクラブ「関西骨髄バンク推進協会チャリティーゴルフ大会」のご報告

10 月 25 日(月)、奈良県「J & P ゴルフクラブ」にて、大阪生野ライオンズクラブ主催『関西骨髄バンク推進協会チャリティーゴルフ大会』が開催されました。

当日は、秋晴れの気持ちのよい天気、絶好のゴルフ日和。参加者は 167 名という賑やかな大会でした。2 箇所のチャリティーホールでは、1 オンしなかった場合のペナルティーとして 1,000 円のチャリティーをいただくというルールでしたが、1 オンしたにもかかわらず、ご寄付下さった方もたくさんいらっしゃいました。

このチャリティーボックスへのご寄付と合わせ、大阪生野ライオンズクラブ 40 周年記念ということで総額 40 万円のご寄付をいただき、パーティー会場にて当協会専務理事の藤岡八重子が拝受いたしました。本当にありがとうございました。



『Jリーグセレッソ大阪選手による大阪府立母子保健総合医療センター慰問』

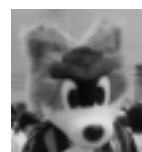


今夏、7月30日 関西骨髄バンク推進協会のご紹介で、セレッソ大阪プロサッカー選手の古橋選手、山城選手、苔口選手が、大阪府立母子保健総合医療センターの患者さんや家族を励ましにきてくださいました。台風が近づいて強風がふいていましたが、この日を心待ちにしていた外来通院中や入院中の子どもたちとその家族(なんと 219 名!)でアトリウムがいっぱいになりました。病室の外にでられない子供のためにと、4 病棟を慰問された後、アトリウム

で交流会を催しました。子どもたちは選手のドリブルやリフティングに見惚れ、たくさん質問にも答えてもらい、一緒にドリブル競争したりと楽しい時間を過ごすことができました。入院中の子どもがその日の感想文を書いてくれました。(大阪府立母子保健総合医療センター イベント担当 大野 真理子看護長).....

『7月30日、百花のいんしているびょういんに、サッカーせんしゅがきてくれた。さいしょだれか、わからないからおもしろくなかった。けど、びょうしつのまえまできてくれて、しゃしんとったりうちわにサインしてもらったときは、うれしかった。また、きてほしいとおもいました。(4階西棟入院中 F.M).....

『サッカーの人たちがきてくれました。わたしは、ぬいぐるみがうれしかったです。手をつないでしゃしんをとりました。おおかみなのかな、犬のかなとおもいました。(4階西棟入院中 N.M).....



『7月30日にセレッソ大阪の人が来ました。4階西に来たのは2時ごろで突然来たので、びっくりしました。最初は3人の選手がサインを書いているところしか見れなかったけど途中からセレッソのオオカミの着ぐるみが来て私と握手してくれたので、とても嬉しかったです。3人の選手とはその場でサインができなかったし、握手もできなかったので残念だったけど立ち去るときに私の方を見て、「こんにちは」と言ってくれたので良かったです。このようにサッカー選手などが病院に来て子供たちとふれあうのは、とてもいいことだと思う私も少しの時間だったけど3人の選手と着ぐるみに会えてすごく楽しかったいい思い出になりました。これからも3人の選手たちにはサッカーを頑張ってもらいたいです。(入院中 S.K).....

『7月30日に、セレッソ大阪の選手が母子センターに来てくれました。各部屋をまわってくれて、ベットからでれない人と写真をとったりしてくれました。その後、1階でリフティングとかドリブルとかしてくれました。質問コーナーもあってとても楽しかったです。リフティングとかドリブルは参加できたけど、僕は車いすだったので参加できませんでした。僕は、高校のサッカー部に所属しているので、参加して、いろいろ学びたかったけど、参加できなくてとても残念でした。でも、プロの選手に会えただけでも、うれしかったし、サインももらえ、写真もとれたので良かったです。僕は、早く退院してサッカーがしたくなりました。そして、上手になって試合で勝ちたいです。(5階西棟入院中 K.A).....

『練習等で日々お忙しい中、皆様に来て下さったのは7月30日午後でした。我が子は小2の娘。一昨年の発病よりスポーツから少し縁遠くなっております。今回は親のミーハーな気持ちとスポーツにふれさせたい気持ちが入り混じったままその日をむかえました。残念ながらアトリウムで皆様の様子を拝見することはできなかったのですが、病室まで来て下さりサインまで頂き大変嬉しく思いました。娘にとっては‘着ぐるみくん’の方が気に入った様子でしたが今後少しずつでも以前のようにスポーツを楽しんでくれたらと願っている次第です。最後になりましたが、皆様のご活躍そして子供達の笑顔のため、またお時間をとって下さいますようお願い申し上げます。今回は本当にありがとうございました。(入院児付き添い母).....

身近に子供達と接することができ、とても楽しかったですし、子供達の笑顔がとても心に残っています

リフティングにも驚いてくれたし、ゲームにも沢山の子どもが参加してくれたおかげで楽しかった

彼らを見ると何かパワーをもらっているような気持ちにさせられます



写真左から 古橋 達弥 選手
山城 純也 選手
苔口 卓也 選手

会場ではチャリティー展示即売も行い、16,820 円の収益がありました。募金箱にも 18,756 円の募金を頂きました。

『毎日社会福祉顕彰受賞』

NPO法人 関西骨髄バンク推進協会専務理事 藤岡八重子

毎日社会福祉顕彰をいただきました。9月16日の毎日新聞朝刊一面に、中国帰国者に日本語教育(東京基督教女子青年会中国帰国者日本語教室)・路上生活者の自立支援(奥田知志)・骨髄バンク推進に奔走(藤岡八重子)3者の受賞が発表されました。28日には毎日新聞東京本社で贈呈式がありました。賞牌と賞金の目録を毎日新聞社東京社会事業団理事長北村正任様より頂きました。続いて、厚生労働省社会援護局総務課長 椋野美智子様よりご祝辞を頂きました。「行政の手の届かない谷間を埋めている人々に感謝とこれからの活動に期待して...」。選考の基準になったのは、ドナー登録を各地で展開していったからだと言われました。



その後、受賞者はお礼のスピーチをする時間を頂きました。私は、白血病を再発した娘が、骨髄移植を希望したにもかかわらず移植を受けることが出来なかった事、当時はマスコミにも骨髄バンクのことは知られておらず、血液のドクターでさえ骨髄バンクは出来ないと言われていましたが、私は、骨髄バンクはできると考えたことをお話ししました。自家移植を受けるために名古屋に入院をしたことがきっかけになり、NHKなどの番組制作、骨髄バンクの必要な再生不良性貧血の患者の新聞報道もあって東海骨髄バンクは出来ました。しかし、東海地方だけのバンクでは、ほんのひとにぎりの患者を救うことにしかならないと思いました。生きようとする人すべてにチャンスがある骨髄バンクにしたい。病気になった不運な患者を又もう一度、幸運と不運とに分けることは絶対に許せないと思いました。

関西協会の仲間と共に関西地区はもとより、東京、又、香川など登録会の開催を準備してきました。国際協力実現のために数回の国際シンポジウムも開催しました。ひとにぎりの患者ではなく多くの人に移植の機会が得られるようになりました。臍帯血バンクもでき、さらにその機会は大きくなっています。でも、まだ不運な人がいます。不運にも病気になった患者が、又ドナーのない不運に...



ドナー募集のスピードが希望をなくした患者の心を救うことが出来ます。私達は当時、骨髄バンクの設立に期待することで希望を持って生きていくことが出来ました。未だ30万人の目標に達しない骨髄バンクには、新聞等マスコミの果たす役割は大きいことをお話ししてこれからも骨髄バンクを支援していただくようお願いをしました。(これは内緒ですが、私は最近、活動がとても苦しい時があります。骨髄バンクの無い国に行きたいと思うことがあります。でも、厚生労働省のご祝辞で、「これからの期待して」と、先を越されてしまいました。スピーチの中にそれを入れることは出来ませんでした。)

『とりなご蕎麦食いコンサート』

横山 昌計

9月26日(日) 福知山市内の「とりなご」店の2階で骨髄バンク支援のチャリティコンサートが行われた。とりなごオーナー夫人でギタリストの足立由香理さんがガン告知された筆者を励まそうと企画してくださり、関西骨髄バンク推進協会専務理事の藤岡さんの仲介でバンク支援事業となった。当日、お忙しい藤岡さんも参加してくださって感激。

木の香り溢れる空間に流れるギターの調べ。イエスタディ・マイウェイ・里の秋・・・と次々奏でられ、「やさしさ」の空間を満たしていく。この「やさしさ」はひとり芝居の笠松真智子さんに引き継がれる。

「とりなご劇場」 やわらかい壁板と黒く太い梁に囲まれたあたたかい木の劇場
梁からつるした、白樺をあしらった紺の長布、舞台を浮き上がらせる照明との組み合わせが深い森を連想させる。マクが開き、ギターの調べは深い森に響き、奥深く吸い込まれていく。

突如、鐘の音。 劇場は鎮まり、黒装束・白仮面の女が現れる。

頭ほどの白い手と白仮面が 暗い空間をゆっくり激しく、はげしく ゆっくり動く。

不思議なバランスが創りだす何か・・・? そうだ! 私自身の心だ、葛藤なんだ!!

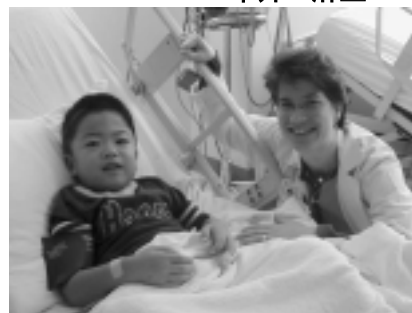
天を衝き、地たたく人間の心。お婆が現れ「花咲き山」「八郎」を語る。

花咲き山の花々、八郎が創った山々に囲まれ私は生きている。

『耀くんの明日への扉』

中井 麻里

こんにちは。豊中の中井です。
 そう言えば前回、「明日への扉」の舞台で、ムコ多糖症の長男 耀（当時 4 歳）、姉の海里（当時 7 歳）と母親の私の 3 人で、訴えかけをした事を書きました。もう 2 年前になるのですね。その後も翌年に、セレッソ大阪の開幕戦のハーフタイムに耀と一緒にマイクを持ってピットに立ったり、再び「明日への扉」にご招待いただいたり、コーラスに参加して一緒に舞台上に上がらせてもらい合唱したり、東京の「骨髄バンク推進全国大会」に参加して、こっそりゲストのミステリー作家 横山秀夫さんにサインをもらい、舞台「友情」の製作発表で、主演の渡瀬恒彦さんが耀に視線を合わす様にしゃがんで握手してくださったりと色々なことがありながら、ご報告も出来ないまま今日に至りました。



しかし今回、とうとう耀に「明日への扉」が見えてきたのです。残念ながら、ドナーさんが見つかったのではありませんが、耀の病気の治療薬がアメリカの製薬会社で開発されて、アメリカの製薬会社の治験に参加できるチャンスが訪れました。今年の 3 月から、父親と二人でテキサス州ヒューストンへ行っています。テキサス チルドレンズ ホスピタルで毎週月曜日に 3 時間の点滴でお薬の投与を受けています。耀は毎回点滴の針を刺す時とっても怖くて泣いてしまうけれど、絶対に腕を引っ込めないと、おとうさんは感心しています。

約一年半の滞在が必要で家族が離れて暮らす事はとっても淋しいけれど、がんばっている耀のためにも、日本で新薬の認可を待ち望んでいる皆さんのためにも、この新薬が 1 日でも早く日本で認可されるように活動したいと考えております。

『イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン』

イオングループの各店舗で、毎月 11 日に開催されている「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」をご存知ですか。このキャンペーンは、毎月 11 日に買い物をするすると渡される黄色いレシートをボランティア団体の名前が書かれた専用ボックスに投函すると、レシート合計金額の 1% がイオンからその団体に商品で還元されるというシステムです。NPO 法人 関西骨髄バンク推進協会のボックスが下記の店舗に設置されています。お近くの方は、毎月 11 日にはぜひお買い物に行き黄色いレシートを関西協会のボックスに投函してください。

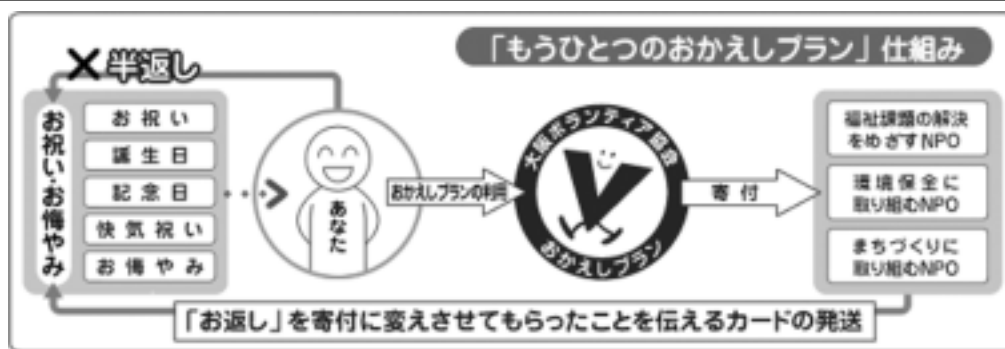
- | | | | |
|--------------|-----------|----------|---------|
| ジャスコ野田阪神店 | 大阪市福島区海老江 | ジャスコ寝屋川店 | 寝屋川市緑町 |
| マックスバリュ二色の浜店 | 貝塚市沢 | ジャスコ南千里店 | 吹田市千里丘西 |
| マックスバリュ平野駅前店 | 大阪市平野区平野北 | ジャスコ貝塚店 | 貝塚市地蔵堂 |

また、イオングループのコンビニエンスストア「ミニストップ」では、大阪府下の各店舗での『チャンス』の設置に協力して下さることになりました。毎日立ち寄るコンビニで『チャンス』を目にすれば、ドナー登録がもっと身近なものになるかもしれません。ご協力ありがとうございます。

『もうひとつのおかえしプラン』 冠婚葬祭時の「おかえし」を NPO への寄付に代えてみませんか？

NPO 法人 関西骨髄バンク推進協会は、大阪ボランティア協会 NPO 推進センターが提案する「もうひとつのおかえしプラン」の寄付先 NPO として登録しています。このプランにご賛同いただき、ぜひ活用をご検討下さい。

詳しいパンフレットをご希望の方は、関西協会事務局にお問合せ下さい。(06 - 6977 - 2123)



冠婚葬祭時にいただいたお祝いやお悔やみに対して、「おかえし」をする習慣がありますよね。「もうひとつのおかえしプラン」は、そのおかえしを様々な社会問題の解決に取り組む NPO への寄付に代える提案です。相手の方には、おかえしを寄付に代えたことをカードでお知らせし、感謝の気持ちを丁寧にお伝えします。
 (詳細は大阪ボランティア協会のホームページでもご覧いただけます。)

<http://cw1.zaq.ne.jp/osakavol/npcoc/coordination/okaesi.html>

骨髄バンクニュースダイジェスト

(骨髄移植推進財団発行のマンスリーレポート7~10月号より)

1. 平成 15 年度の事業・決算報告(7月)

通常理事会・通常評議員会が6月25日(金)、廣瀬ビル会議室(東京・千代田区)で開催され、平成15年度事業報告と一般会計・特別会計収支決算案が可決承認、同意されました。また、理事の選任補充案と評議員の選任補充案もそれぞれ承認されました。詳細は財団公式サイトからトップページ>骨髄移植推進財団について>法人情報をご覧ください

2. 骨髄バンク議員連盟が坂口力厚生労働大臣に要望(8月)

党派を超えて骨髄バンクを応援する国会議員63人で構成される「骨髄バンク議員連盟」(会長:野田聖子衆議院議員)は、毎年政府に対し骨髄バンク関係予算の増額や患者負担金の医療保険適用等を働きかけています。8月11日(水)、野田会長、丸谷佳織副会長、小此木八郎幹事長、三ツ林隆志事務局長が坂口力厚生労働大臣を訪問し「国庫補助の充実並びにドナー登録募集についての日本赤十字社の本来業務としての取り組み」という趣旨の要望書を提出しました。

3. 臨時評議員会・理事会開催、常務理事・事務局長が交代(8月)

7月28日(水)当財団の臨時評議員会、理事会が開催されました。大石源誌常務理事・事務局長が7月31日付で退任することに伴い、評議員会で新たに堀之内敬氏が理事に補充選出され、その後理事会の互選により同氏が常務理事・事務局長に選出されました(8月1日付で就任)。自由討議では、ドナー登録推進のため、日本赤十字社に一層の協力をお願いしたいという意見などが出されました。

4. 公共広告機構の新CM「白血病と闘う星野仙一」編が開始(8月)

8月から公共広告機構の新キャンペーンが始まります。今回登場するのは、阪神タイガース前監督・星野仙一さんと白血病と12年も闘い続けている谷口明子さんです。CMでは星野さんと谷口さんの出会いと二人の間で交わされた「優勝の約束」というエピソードを軸にお二人のモノローグを展開。谷口さんにとって、星野さんとの「出会い」が白血病と闘う大きなエネルギーになったという事実から、視聴者に自分自身が「出会い」をもたらす存在になる、ドナー登録を呼びかけます。

5. 全国知事会が各道府県知事あてに依頼文書を発出(9月)

全国知事会(会長:梶原拓岐卓県知事)から9月7日付けで「骨髄バンク事業の推進について(依頼)」通知が各都道府県知事あてに発出されました。内容は、1)赤十字血液センターにおける骨髄バンクドナー登録受付及び募集業務の促進、2)各都道府県における連絡協議会の設置等の2点です。関係者各位のご理解に、厚くお礼申し上げます。

6. 骨髄バンク関連の政府概算要求予算 増額を要求(9月)

8月末、財務省に提出された骨髄バンク関連の予算、当財団への国庫補助金は、今年度4億4871万円から4437万円増の4億9309万円の要求となりました。内訳は1)ドナー登録者フォローアップ事業が新規に認められ、2)地区普及広報委員・説明員の研修費用、ドナー登録説明員の活動費が大幅に増額されています。また、日本赤十字社に国庫補助されている骨髄データバンク登録費は、検査対象人員が3万人から3,000人分増えたことから5,157万円が増額され、8億215万円の要求となっています。

7. インターネット広告推進協議会による骨髄バンク支援キャンペーン(9月)

インターネット広告の社会的信頼性の向上を目的に活動する、インターネット広告推進協議会(略称:JIAA)による骨髄バンク支援がこの秋から本格的に展開されます。インターネット広告、モバイル広告ビジネスに関わる加盟会員媒体に広告・記事掲載を働きかけることで骨髄バンクのコミュニティサイト「donorsnet」のキャンペーン展開を図るというものです。すでにポータルサイト、ニュースサイト、情報サイトなどでキャンペーンバナーの掲載が決定。インターネット広告が持つ草の根的ネットワークと即時性が活用された、大きな普及啓発効果が期待されます。

8. さい帯血バンクネットワークが設立5周年を迎えました(10月)

10月16日(土)、有明の東京ビッグサイトで日本さい帯血バンクネットワークの設立5周年記念大会が開催され、初めて小児と成人別の移植成績が報告されました。

さい帯血バンクは、平成11年夏の発足から、当初目標としていた保存さい帯血数が2万個を突破し、移植件数も近く2,000例に達する見込みです。造血幹細胞移植を必要とする患者さんの救命のため、さい帯血バンクと骨髄バンクは車の両輪として一層の発展が望まれます。

お問い合わせは・ 骨髄バンクフリーダイヤル 0120-445-445

日本骨髄バンク骨髄提供登録者(ドナー)・骨髄移植希望者登録状況 (2004年9月末現在)

	合計	関西	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
ドナー登録者数(9月末)	196,733	27,050	1,710	4,859	10,672	6,878	1,681	1,250
移植希望者登録数(9月末)	2,735	251	18	38	105	55	24	11

各地の活動報告

- 7月 15 大阪入国管理局 登録会打合せ(関西) 28 毎日新聞「毎日社会福祉顕彰」贈呈式出席
 24 第4回理事会(関西) 10月 3 福知山ライオンズデーにて説明会(和の会)
 26 関西協会ニュース封入作業(関西) 3 堺東駅前にて登録会チラシ配布(さかい)
 28 財団評議委員会出席 4 「栗東ライオンズクラブ: CN30周年記念ゴルフ大会」(滋賀)
 29 「東大阪市民健康まつり健康展」打合せ(関西) 9~11 「信楽土まつり」にて啓発(滋賀)
 30 セレッソ大阪による大阪府立母子保健総合医療センター慰問とチャリティー展示即売(関西) 17 セレッソ vs ヴィッセルにて普及啓発(さかい)
 31 「堺大魚夜市」市民活動発表会にて啓発(さかい) 17 草津市制 50周年記念「草津市民の日」イベント会場にて説明会(滋賀)
 8月 1 「和の会通信」第12号発行(滋賀) 18 大阪教育大学「神霜祭」登録会打合せ(関西)
 7 栗東ライオンズクラブ説明会(滋賀) 19 札幌旭丘高校研修にて講演(関西)
 24 新極真会 登録会打合せ(関西) 19 健康科学センターにてチャリティー展示即売会(関西)
 29 日本武尊杯(新極真会南大阪支部)にて寄付拝受(関西) 19 東大阪ききょうライオンズクラブ打合せ(関西)
 29 セレッソ vs トリニータにて普及啓発(さかい) 22~24 「明日への扉」公演にて啓発(関西)
 30 「関西骨髄バンク・さい帯血バンク合同フォーラム」打合せ(関西) 22 和歌山県自治会館にて講演会と説明員研修会(和歌山)
 9月 2 チャリティーゴルフ大会打合せ(関西) 23・24 福知山産業フェスタ啓発と説明会(和の会・関西)
 6 大阪府庁 登録会打合せ(関西) 23 「さかいボランティア市民活動フェスティバル」にて説明会バザー(さかい)
 8 京都府説明員打合せ 25 生野ライオンズクラブゴルフ大会参加(関西)
 9 大阪府立大学「白鷺祭」登録会打合せ(関西) 29 「関西骨髄バンク・さい帯血バンク合同フォーラム」開催(関西)
 11 「日本木材青壮年団体連合近畿地区会員滋賀大会」にて説明会(滋賀) 30 セレッソ vs レッズにて普及啓発(さかい)
 12 「e r a d i o杯チャリティーゴルフ大会」(滋賀) 30 県立和歌山医大O B会フォーラムにてチラシ配布(和歌山)
 19 セレッソ vs ジェフユナイテッドにて啓発(さかい) 31 骨髄バンク推進全国大会出席(さかい・関西)
 19 「栗東ライオンズクラブ: CN30周年記念講演会」にて講演と説明会(滋賀) 31 「東大阪市民健康まつり健康展」にて啓発と説明会(関西)
 22 大阪そねざきロータリークラブにて講演(関西) 31 青少年赤十字高校生メンバーによるチャリティーバザー(関西)
 26 福知山「とりなご・蕎麦食いコンサート」にて啓発(和の会)
 26 セレッソ vs マリノスにて普及啓発(さかい)
 27 大阪東淀ロータリークラブにて講演(関西)
 27 セントジョンアンピュランスジャパン協会打合せ(関西)

ドナー登録会の報告

7月~10月 当協会・加盟団体分

月	日	曜	実施形態		場所(協力・主催)	登録者数
7	24	土	献血併行	京都	綾部保健福祉センター(京都府)	5
8	1	日	献血併行	京都	福知山三段池公園体育館(京都府)	8
8	10	火	献血併行	京都	福知山武道館(京都府)	0
8	31	火	献血併行	大阪	大阪入国管理局茨木分室	9
9	5	日	献血併行	大阪	茨木市保健医療センター(茨木市・大阪府)	12
9	20	祝	集団登録	和歌山	御坊市民文化会館(和歌山県)	6
9	22	水	献血併行	大阪	近鉄国分駅前(柏原ライオンズクラブ・大阪府)	5
9	23	祝	献血併行	京都	ジャスコ福知山店	5
10	3	日	献血併行	京都	西舞鶴商店街(秋のほっとストリート in 舞鶴)	7
10	6	水	献血併行	大阪	大阪府庁(大阪府)	19
10	8	金	献血併行	大阪	京阪守口市駅前(守口ライオンズクラブ・大阪府)	14
10	13	水	献血併行	大阪	関電労組 東住吉支部	6
10	17	日	献血併行	大阪	生野まつり(生野・城南・東部ライオンズクラブ・大阪市)	11
10	24	日	集団登録	大阪	堺市役所本館(堺市・大阪府)	22
10	31	日	献血併行	京都	京都市武道センター(新極真会・京都府)	13

映画「火火~ひび~」2005 年春公開予定

当協会理事でもある陶芸家神山清子さんをモデルにした映画、「火火」が完成。2005 年 1 月 22 日の滋賀県先行ロードショーを皮切りに全国で公開されます。関西では、3 月初旬公開予定です。神山さん役には、田中裕子。白血病で亡くなられた息子の賢一さん役には新人・窪塚俊介が起用されています。穴窯、燃える火、そして多くの陶芸作品など、すべて本物が使われているというこの映画は、神山さんの自宅と工房・2 つの穴窯で撮影されました。火・土・ビードロ、本物の美しさをぜひスクリーンでご覧下さい。

心よりのご寄付に感謝申し上げます

2004 年 7 月 1 日 ~ 10 月 31 日(敬称略・順不同)

個人寄付

重松三洋子	1,000,000 円	掛水信久	10,000 円	伊地智昭浩	3,000 円
金澤鐘揚	4,000 円	西村彰	3,000 円	ネズミ工房	6,920 円
杉原知樹	3,000 円	森孝道	3,000 円	パツワークグループ	14,750 円
末吉正典	2,000 円	岩田江一	10,000 円	トンボ玉グループ	2280 円
三宅修一	7,000 円	横山繁樹	10,000 円	匿名	900 円
加藤加代子	1,000 円	西村義之	7,000 円	匿名	7,000 円
伊藤克美	3,000 円	関根倫子	10,000 円	匿名	7,000 円
谷本幸三	7,000 円	神山清子	20,000 円	匿名	10,000 円
大林稔	1,000 円	池田康子	3,000 円	匿名	1,736 円
黒木保正	7,000 円	砂田節子	3,000 円	匿名	10,000 円
藤岡八重子(毎日社会福祉顕彰副賞)	1,000,000 円				

団体寄付

醐山青年連合会	3,000 円	(株)高橋メガネ 高橋章子	100,000 円
宗教法人 醍醐寺	3,000 円	大阪東淀ロータリークラブ	100,000 円
守口ライオンズクラブ	50,000 円	泉佐野中央ライオンズクラブ	8,000 円
大和郡山ロータリークラブ	10,000 円	国際ソロプチミスト奈良 - あすか	30,000 円
第 2 回日本武尊杯(新極真会南大阪支部)	30,000 円	大阪生野ライオンズクラブ	400,000 円
浄土真宗本願寺派たすけあい運動募金	100,000 円	大阪府高等学校青少年赤十字クラブ - 連絡協議会	112,272 円

団体賛助会費

国際ソロプチミスト大阪 - 門真	10,000 円	豊岡ロータリークラブ	10,000 円
両丹日日新聞社	10,000 円	豊岡円山川ロータリークラブ	10,000 円
国際ソロプチミスト豊中 - 千里	10,000 円	(株)藤岡建築事務所	10,000 円
柏原ライオンズクラブ	10,000 円	明石北ライオンズクラブ	10,000 円
国際ソロプチミスト大阪 - 難波	10,000 円	尼崎ライオンズクラブ	10,000 円
キリンビール(株)医薬カンパニー営業本部	10,000 円	国際ソロプチミスト京都	10,000 円
滋賀県歯科医師会	10,000 円	姫路ライオンズクラブ	10,000 円
大和郡山ロータリークラブ	10,000 円	国際ソロプチミスト大阪 - りんくう	10,000 円
東大阪大学短期大学部	10,000 円	奈良セントラルライオンズクラブ	10,000 円
大阪ロータリークラブ	10,000 円		

皆様の心よりのご寄付をお待ちしております。

お振込先 郵便口座 00970-3-64270

関西骨髄バンク推進協会

りそな銀行 京阪京橋支店 普通 6195718

NPO 法人 関西骨髄バンク推進協会

* このニュースレターは会員および関係者の皆様にお送りしております。今後、送付を希望されない場合は、お手数ですが当協会までご連絡くださいますようお願いいたします。

各会ではボランティアを募集しております

- * 骨髄バンクを応援するさかい TEL&FAX:072-273-0992
- * 骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:0773-27-7693
- * 大阪骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:06-6349-2002
- * 和歌山骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:073-451-9528
- * 滋賀骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:0748-83-0259
- * 奈良造血幹細胞移植を支援する会 TEL&FAX:0744-42-2167

NPO 法人 関西骨髄バンク推進協会 TEL&FAX 06-6977-2123

〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3 大阪府立成人病センター第三部長室内

E-mail : kankyo@mtc.biglobe.ne.jp URL : http://www5c.biglobe.ne.jp/~marrow/